

5 環境について

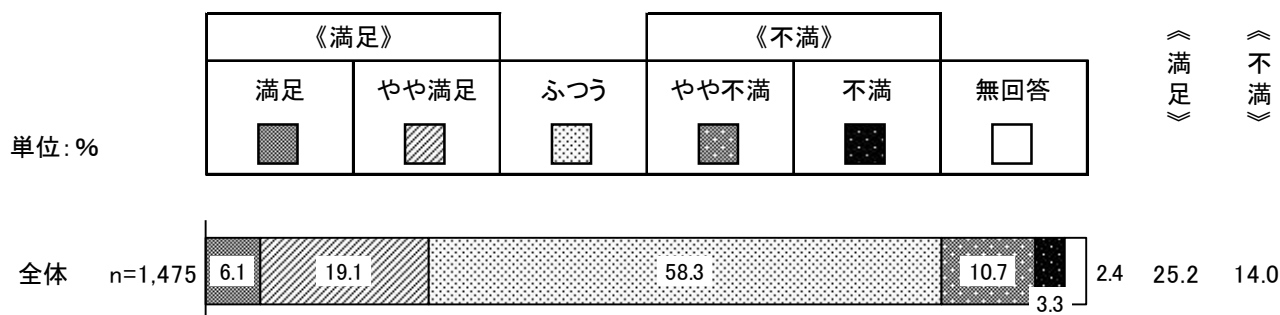
(1) 川越市の環境への満足度

◇ 《満足》が25.2%

問 31 あなたは、川越市の環境について、どのように感じていますか。(1つのみ)

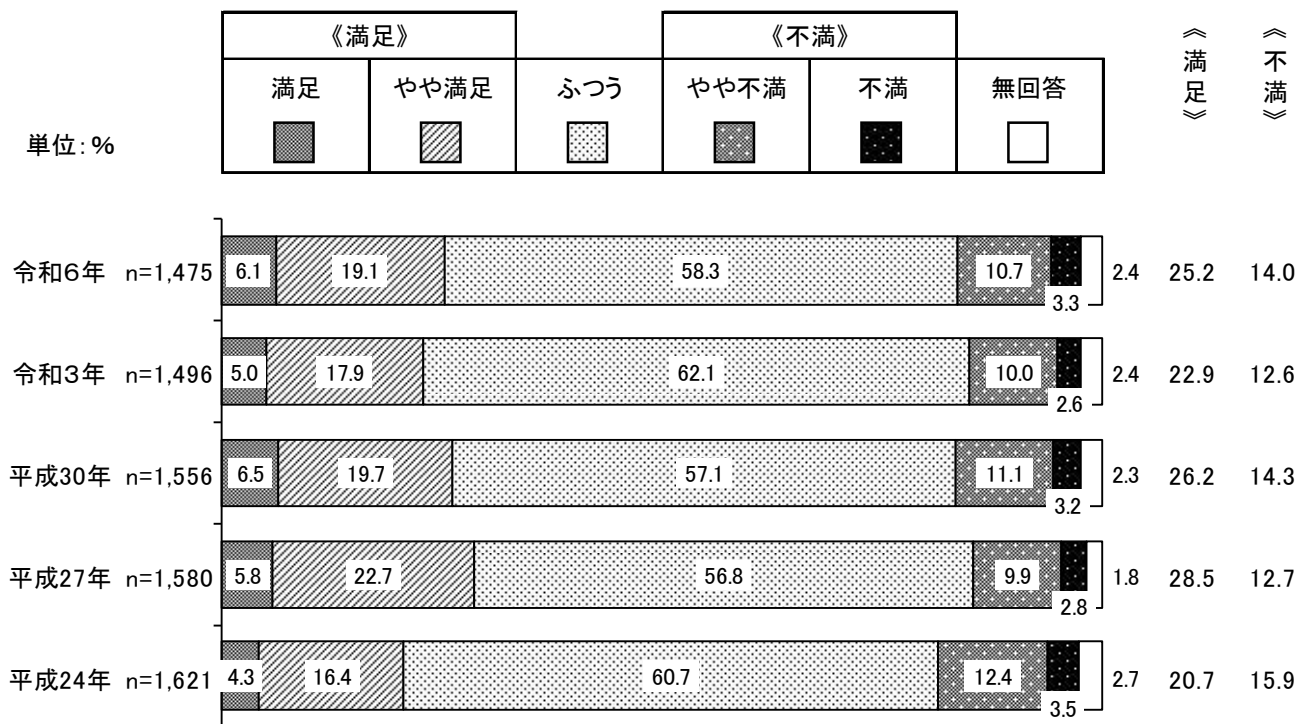
※「環境」とは、地球温暖化、廃棄物問題、生物の多様性、都市のみどりまで幅広く捉えた環境を想定しています。

川越市の環境への満足度については、「満足」、「やや満足」の合計値《満足》が25.2%である一方、「やや不満」、「不満」の合計値《不満》は14.0%と、《満足》が11.2ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、《満足》は前回調査より2.3ポイント増加し、「ふつう」は3.8ポイント減少している。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、《満足》は男性が女性より 7.7 ポイント高く、男性 20 歳代が 4 割を超え高くなっている。一方、《不満》は女性 60 歳代、70 歳代が 2 割近くと高くなっている。

単位：％	《満足》			《不満》			無回答	《満足》 合計値	《不満》 合計値
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満				
全体 n=1,475	6.1	19.1	58.3	10.7	3.3	2.4		25.2	14.0
【性別・年代別】									
男性 n=597	8.4	21.6	56.1	8.7	3.4	1.8		30.0	12.1
男性18・19歳 n=12	8.3	16.7	66.7	8.3	0.0	0.0		25.0	8.3
男性20歳代 n=50	18.0	24.0	50.0	2.0	4.0	2.0		42.0	6.0
男性30歳代 n=53	17.0	18.9	58.5	3.8	1.9	0.0		35.9	5.7
男性40歳代 n=83	6.0	28.9	51.8	9.6	3.6	0.0		34.9	13.2
男性50歳代 n=120	8.3	17.5	55.8	12.5	5.0	0.8		25.8	17.5
男性60歳代 n=113	7.1	20.4	55.8	9.7	6.2	0.9		27.5	15.9
男性70歳以上 n=166	4.8	22.3	59.0	8.4	0.6	4.8		27.1	9.0
女性 n=829	4.8	17.5	60.7	12.2	2.9	1.9		22.3	15.1
女性18・19歳 n=5	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0		40.0	0.0
女性20歳代 n=57	3.5	21.1	64.9	10.5	0.0	0.0		24.6	10.5
女性30歳代 n=94	5.3	21.3	56.4	16.0	1.1	0.0		26.6	17.1
女性40歳代 n=148	4.7	18.2	64.2	9.5	2.7	0.7		22.9	12.2
女性50歳代 n=174	6.3	16.7	62.6	10.3	2.9	1.1		23.0	13.2
女性60歳代 n=141	5.7	9.9	64.5	12.1	5.7	2.1		15.6	17.8
女性70歳以上 n=209	3.3	19.6	55.0	14.8	2.9	4.3		22.9	17.7

■ 居住地区別

居住地区別でみると、《満足》は『本庁地区』が 30.0%で最も高く、次いで『大東地区』が 29.7%、『川鶴地区』が 28.1%となっている。一方で、《不満》は『福原地区』が 26.6%で最も高く、次いで『古谷地区』が 25.4%、『芳野地区』が 15.9%となっている。

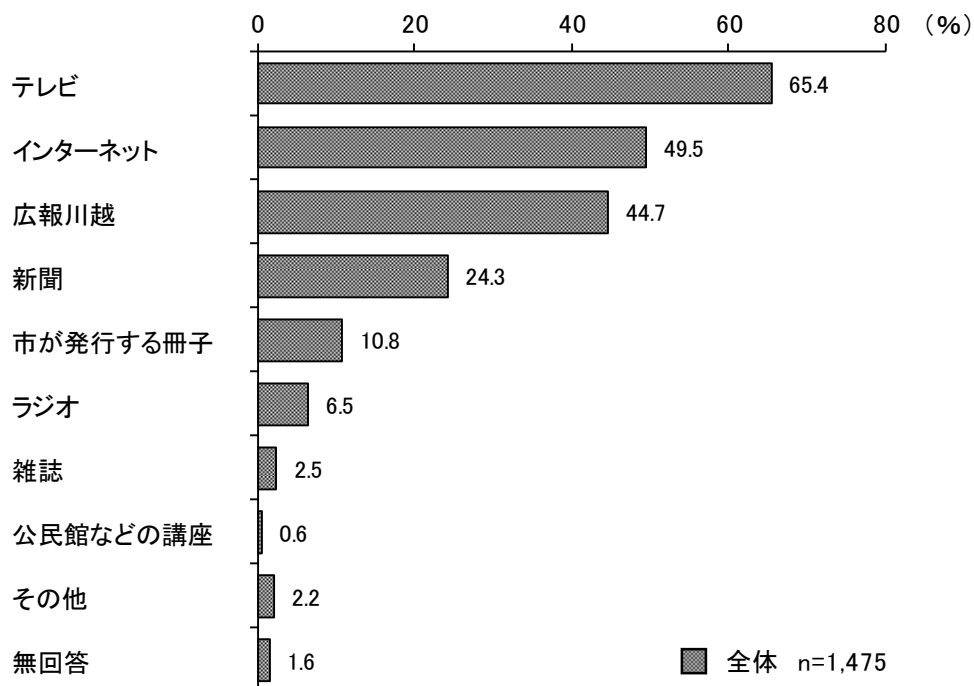
単位：％	《満足》			《不満》			無回答	《満足》 合計値	《不満》 合計値
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満				
全体 n=1,475	6.1	19.1	58.3	10.7	3.3	2.4		25.2	14.0
【居住地区別】									
本庁地区 n=330	8.5	21.5	53.9	10.6	3.9	1.5		30.0	14.5
芳野地区 n=44	4.5	18.2	56.8	9.1	6.8	4.5		22.7	15.9
古谷地区 n=59	10.2	11.9	52.5	20.3	5.1	0.0		22.1	25.4
南古谷地区 n=131	3.1	17.6	64.1	9.2	2.3	3.8		20.7	11.5
高階地区 n=157	8.3	19.7	59.2	7.6	3.8	1.3		28.0	11.4
福原地区 n=94	5.3	18.1	50.0	21.3	5.3	0.0		23.4	26.6
大東地区 n=138	5.8	23.9	55.8	8.7	2.2	3.6		29.7	10.9
霞ヶ関地区 n=163	3.1	19.6	64.4	8.0	3.7	1.2		22.7	11.7
川鶴地区 n=71	5.6	22.5	62.0	8.5	1.4	0.0		28.1	9.9
霞ヶ関北地区 n=52	1.9	21.2	63.5	13.5	0.0	0.0		23.1	13.5
名細地区 n=96	7.3	14.6	63.5	11.5	2.1	1.0		21.9	13.6
山田地区 n=77	9.1	15.6	62.3	5.2	2.6	5.2		24.7	7.8

(2) 環境に関する情報の入手先

◇「テレビ」が 65.4%

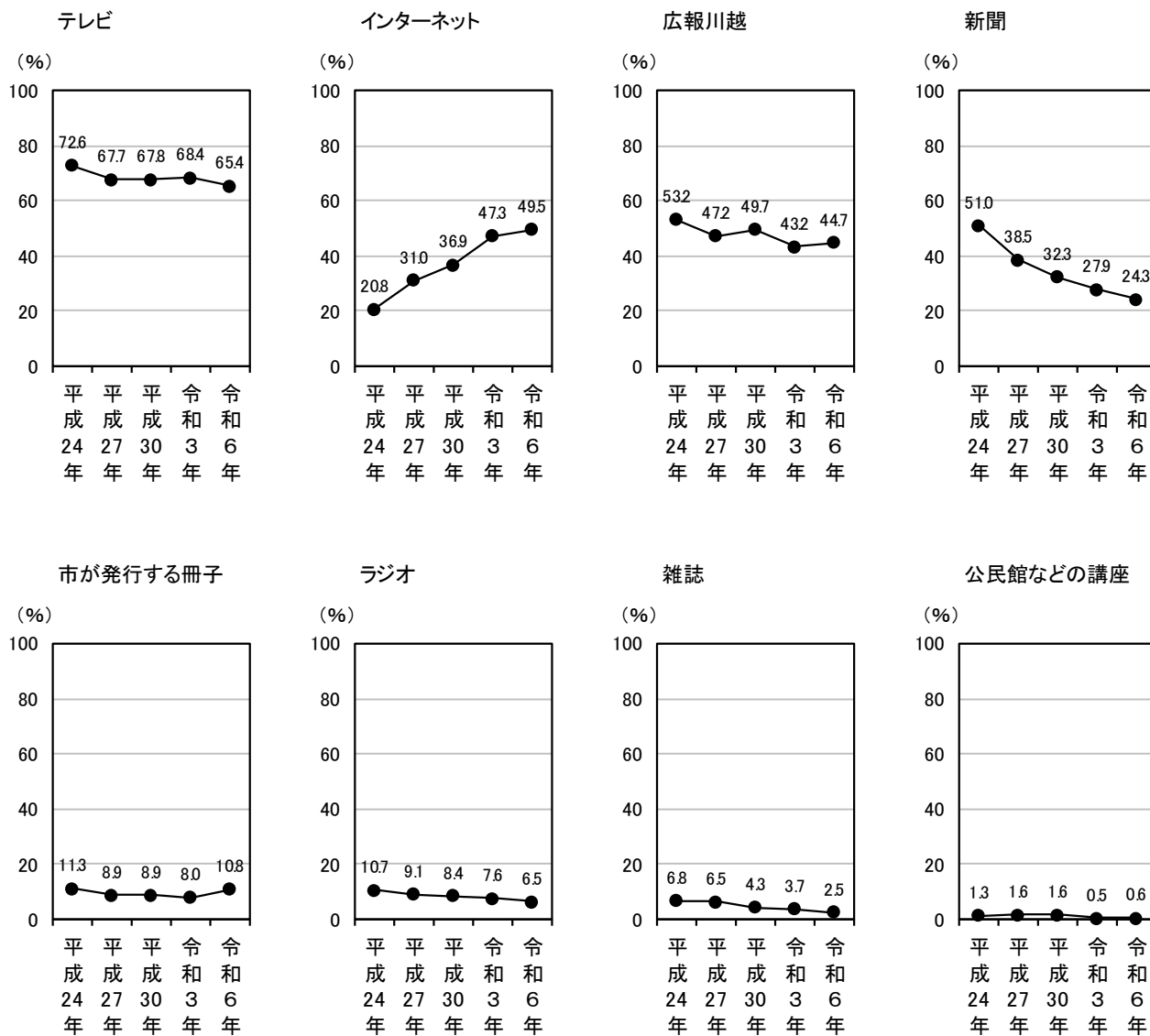
問 32 あなたは、普段、環境に関する情報をどこから入手していますか。
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)

環境に関する情報の入手先については、「テレビ」が 65.4%で最も高く、次いで「インターネット」が 49.5%、「広報川越」が 44.7%、「新聞」が 24.3%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「インターネット」は増加傾向となっており、前回調査より 2.2 ポイント、平成 24 年度より 28.7 ポイント増加している。「広報川越」は前回調査より 1.5 ポイント増加したが、平成 24 年度より 8.5 ポイント下回っている。一方、「新聞」は減少傾向となっており、前回調査より 3.6 ポイント、平成 24 年度より 26.7 ポイント減少している。「テレビ」も前回調査より 3.0 ポイント減少し、「ラジオ」、「雑誌」も減少傾向となっている。



■ 性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別でみると、男性、女性ともに「テレビ」が1位となっている。「テレビ」は男性50歳代以上、女性40歳代以上で1位となっており、女性60歳代はほぼ8割、女性70歳以上は7割半ばと高く、男性30歳代、40歳代を除き5割以上となっている。「インターネット」は男性20歳代、30歳代、40歳代、女性20歳代、30歳代で1位となっており、男性20～40歳代、女性20歳代は7割台と高くなっているが、それ以上の年代では年代が高くなるにつれ減少傾向となっている。また、「広報川越」、「新聞」は、一部を除きおおむね年代が高くなるにつれ増加傾向となっており、「広報川越」は男女とも70歳以上で6割台と高くなっている。

単位：％	テレビ	インターネット	広報川越	新聞	市が発行する冊子	ラジオ
全体 n=1,475	 65.4	 49.5	 44.7	 24.3	 10.8	 6.5

【性別・年代別】

男性 n=597	テレビ	インターネット	広報川越	新聞	市が発行する冊子	ラジオ
男性18・19歳 n=12	 83.3	 41.7	 16.7	 25.0	 8.3	 0.0
男性20歳代 n=50	 52.0	 72.0	 18.0	 2.0	 6.0	 6.0
男性30歳代 n=53	 41.5	 71.7	 37.7	 9.4	 11.3	 3.8
男性40歳代 n=83	 47.0	 78.3	 32.5	 14.5	 4.8	 7.2
男性50歳代 n=120	 63.3	 61.7	 31.7	 18.3	 10.0	 15.0
男性60歳代 n=113	 62.8	 54.0	 46.0	 24.8	 7.1	 8.8
男性70歳以上 n=166	 69.9	 22.9	 61.4	 53.6	 16.9	 4.2

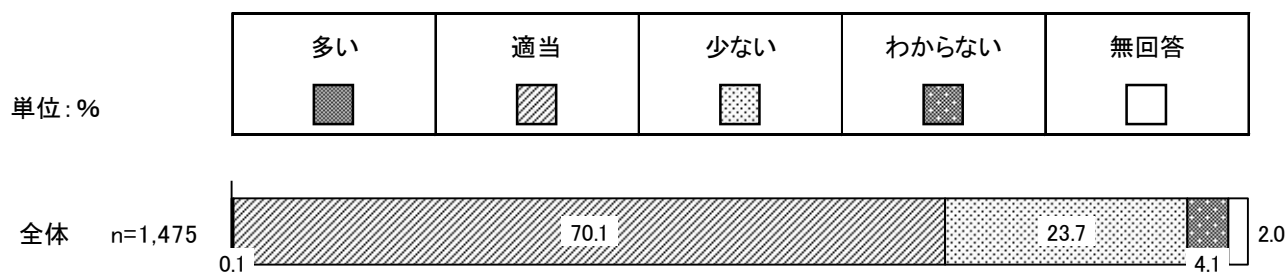
女性 n=829	テレビ	インターネット	広報川越	新聞	市が発行する冊子	ラジオ
女性18・19歳 n=5	 60.0	 100.0	 20.0	 0.0	 0.0	 0.0
女性20歳代 n=57	 54.4	 75.4	 17.5	 0.0	 7.0	 3.5
女性30歳代 n=94	 60.6	 66.0	 41.5	 6.4	 13.8	 6.4
女性40歳代 n=148	 64.9	 63.5	 43.9	 9.5	 8.1	 2.7
女性50歳代 n=174	 69.0	 56.9	 42.0	 20.1	 8.0	 5.7
女性60歳代 n=141	 80.9	 36.9	 49.6	 36.2	 10.6	 8.5
女性70歳以上 n=209	 75.1	 18.2	 64.6	 38.8	 18.2	 5.7

(3) 資源ごみの収集回数への認識

◇「適当」が70.1%

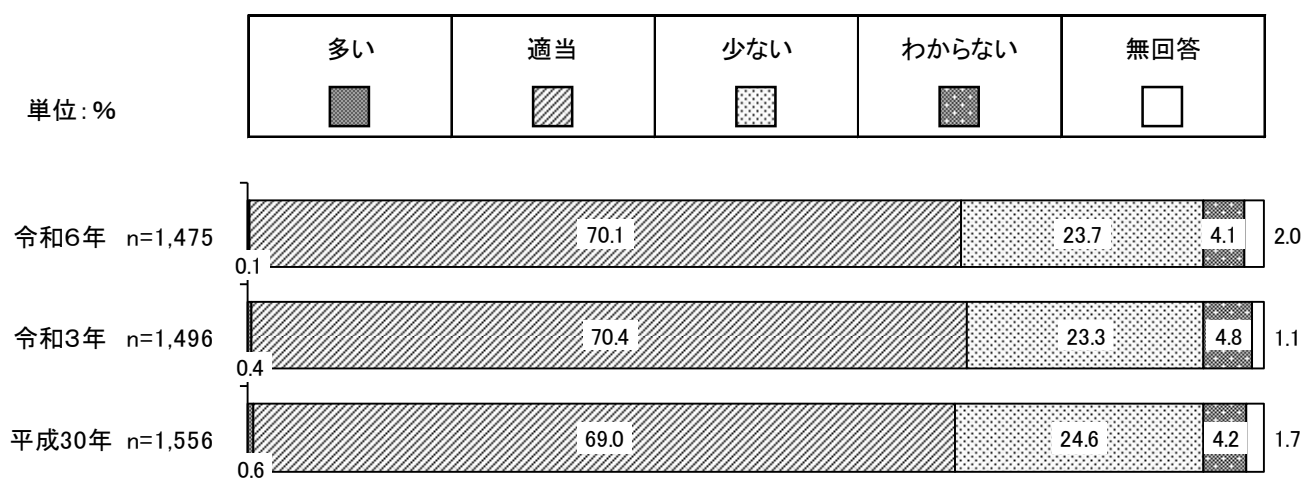
問 33 資源ごみの収集回数は適当だと思いますか。(1つのみ)

資源ごみの収集回数への認識については、「適当」が70.1%で最も高く、次いで「少ない」が23.7%、「多い」が0.1%、となっている。なお、「わからない」は4.1%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、前回調査と大きな差はみられない。

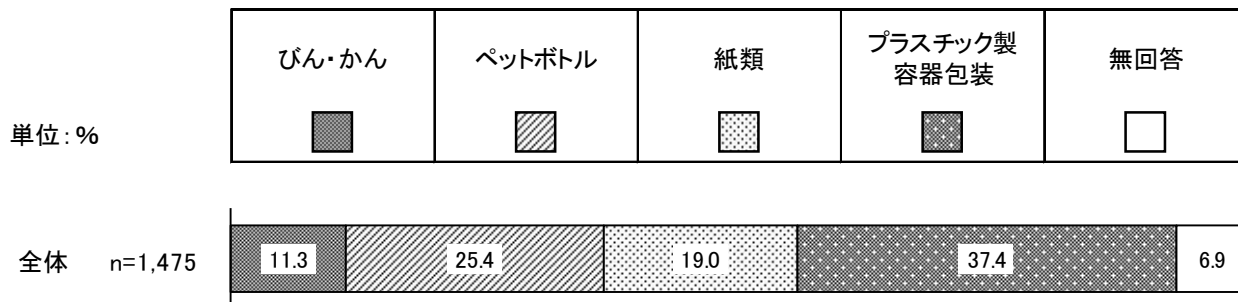


(4) 収集回数を増やす品目

◇「プラスチック製容器包装」が 37.4%

問 34 収集回数を更に増やすなら、品目は何が良いですか。(1つのみ)

収集回数を増やす品目については、「プラスチック製容器包装」が 37.4%で最も高く、次いで「ペットボトル」が 25.4%、「紙類」が 19.0%、「びん・かん」が 11.3%となっている。

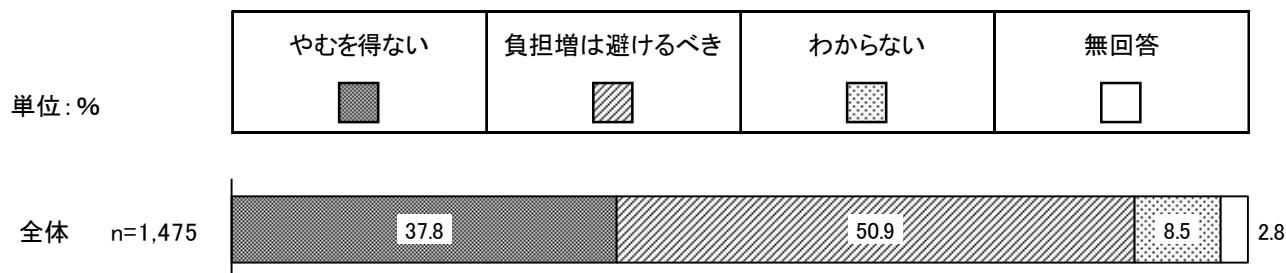


（５）収集回数を増やすための経費

◇「負担増は避けるべき」が 50.9%

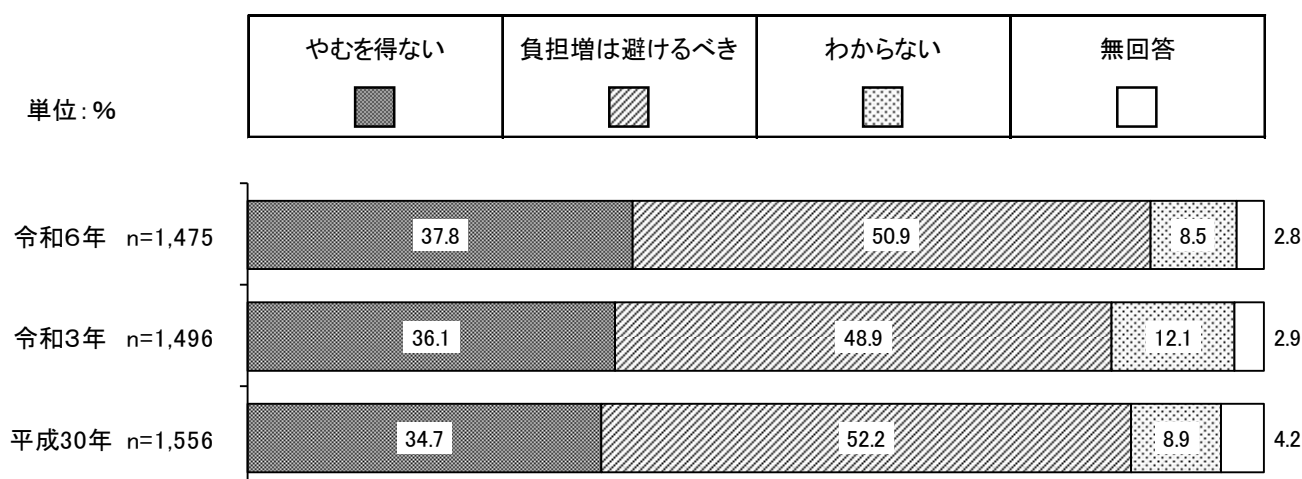
問 35 収集回数を増やすため、経費が増えることについて、どのように思いますか。（１つのみ）

収集回数を増やすための経費については、「やむを得ない」が 37.8%、「負担増は避けるべき」が 50.9%と、「負担増は避けるべき」が 13.1 ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「やむを得ない」は増加傾向となっており、前回調査と比べ 1.7 ポイント、平成 30 年度と比べ 3.1 ポイント増加している。

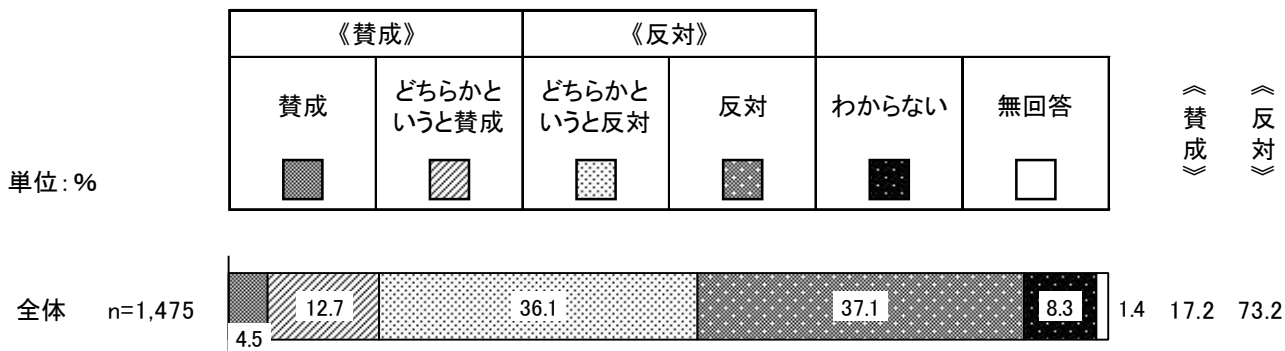


(6) 家庭ごみ収集の有料化

◇ 《反対》が73.2%

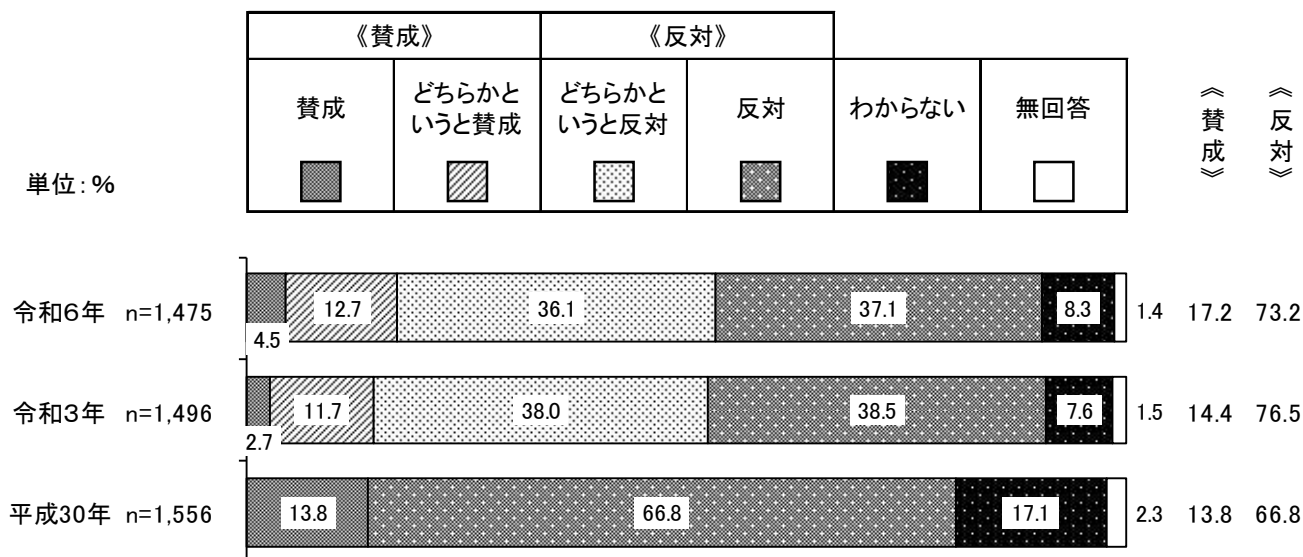
問 36 ごみ処理費用負担の公平性の観点から、家庭ごみ収集を有料化することについて、どのように思いますか。(1つのみ)

家庭ごみ収集の有料化については、「賛成」、「どちらかという賛成」の合計値《賛成》が17.2%である一方、「反対」、「どちらかという反対」の合計値《反対》は73.2%と、《反対》が56.0ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、《賛成》は増加傾向となっており、前回調査と比べ2.8ポイント、平成30年度と比べ3.4ポイント増加している。一方、《反対》は前回調査と比べ3.3ポイント減少している。



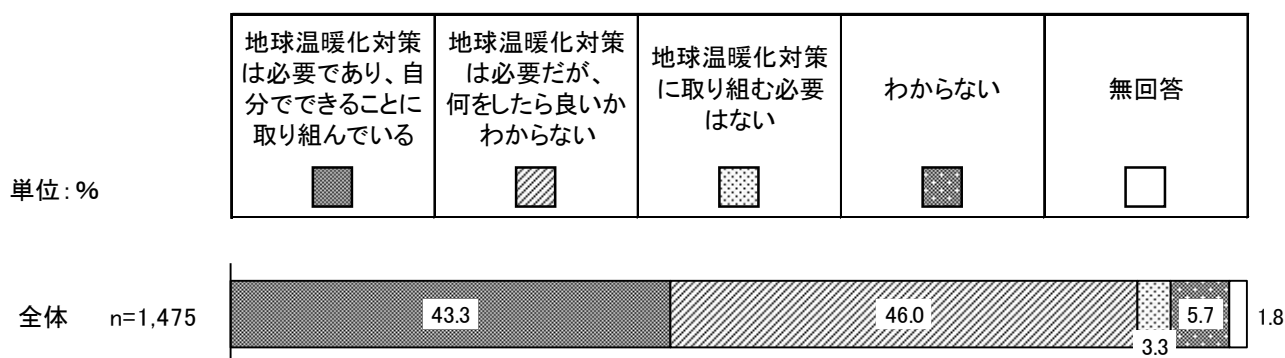
(7) 地球温暖化対策への考え方

◇「地球温暖化対策は必要だが、何をしたら良いかわからない」が46.0%

問 37 川越市は、「小江戸かわごえ脱炭素宣言」を表明し、2050 年脱炭素社会の実現に向けて地球温暖化対策を推進します。

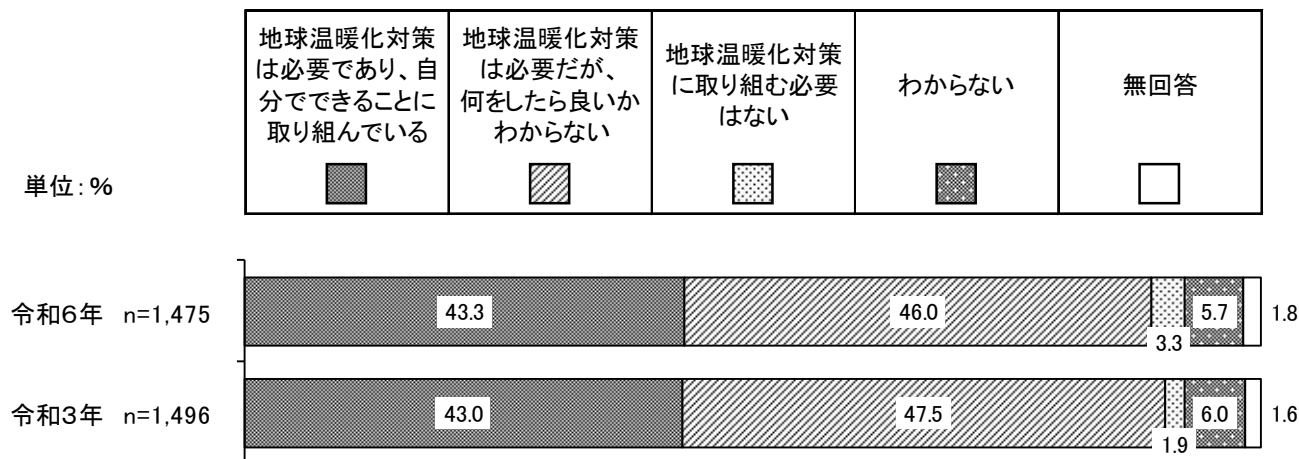
あなたは、地球温暖化対策について、どのように思いますか。(1つのみ)

地球温暖化対策への考え方については、「地球温暖化対策は必要だが、何をしたら良いかわからない」が46.0%で最も高く、次いで「地球温暖化対策は必要であり、自分でできることに取り組んでいる」が43.3%、「地球温暖化対策に取り組む必要はない」が3.3%となっている。なお、「わからない」は5.7%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、前回調査と大きな差はみられない。



(8) まちの緑化への活動内容

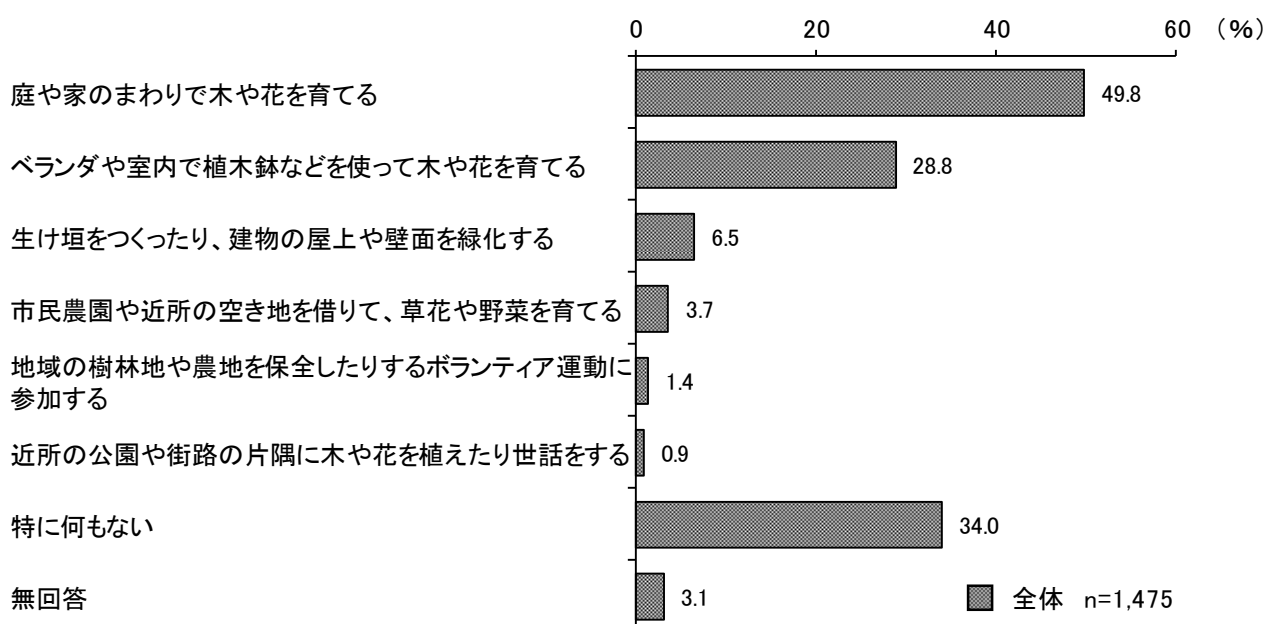
◇現在している活動：「庭や家のまわりで木や花を育てる」が 49.8%

今後したい活動：「庭や家のまわりで木や花を育てる」が 17.3%

問 38 あなたは、緑を増やすために、①現在どのようなことをしていますか。また、②今後どのようなことをしたいですか。(それぞれいくつでも)

■現在している活動

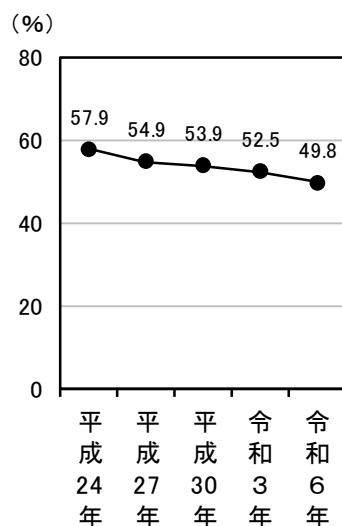
まちの緑化への活動内容（現在している活動）については、「庭や家のまわりで木や花を育てる」が 49.8%で最も高く、次いで「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」が 28.8%、「生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する」が 6.5%、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」が 3.7%となっている。なお、「特に何も無い」は 34.0%となっている。



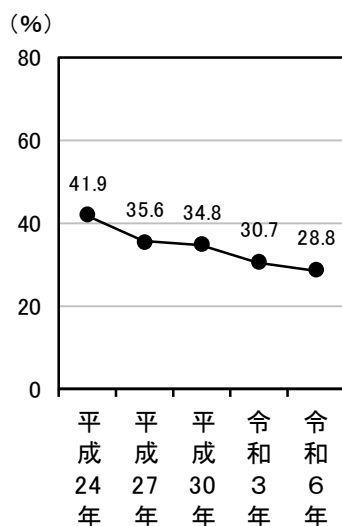
■ 時系列での比較（現在している活動）

時系列でみると、上位4項目はいずれも前回調査を下回っている。平成24年度と比べ、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」は13.1ポイント、「庭や家のまわりで木や花を育てる」は8.1ポイント減少している。

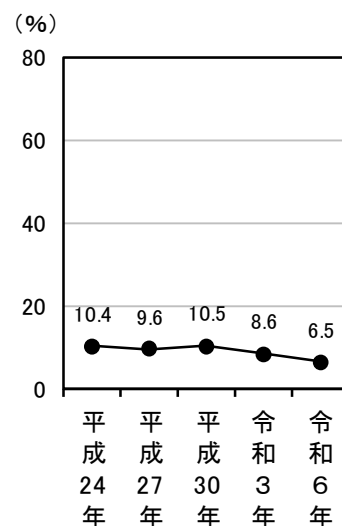
庭や家のまわりで木や花を育てる



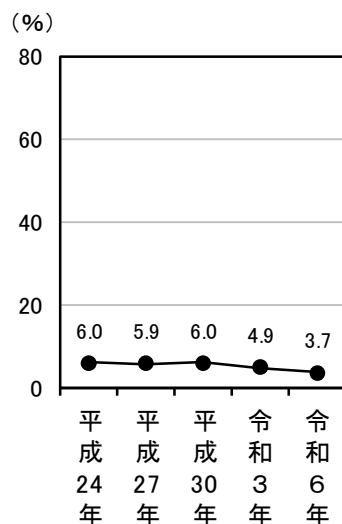
ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる



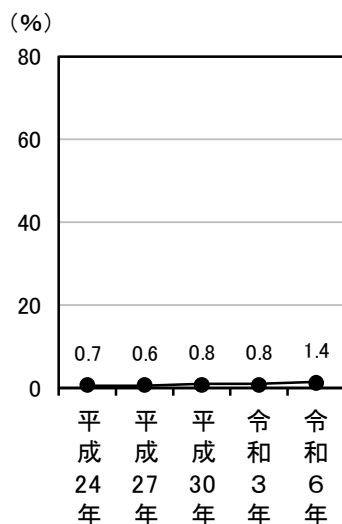
生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する



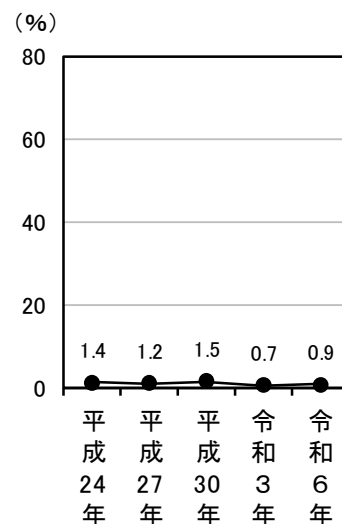
市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる



地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する

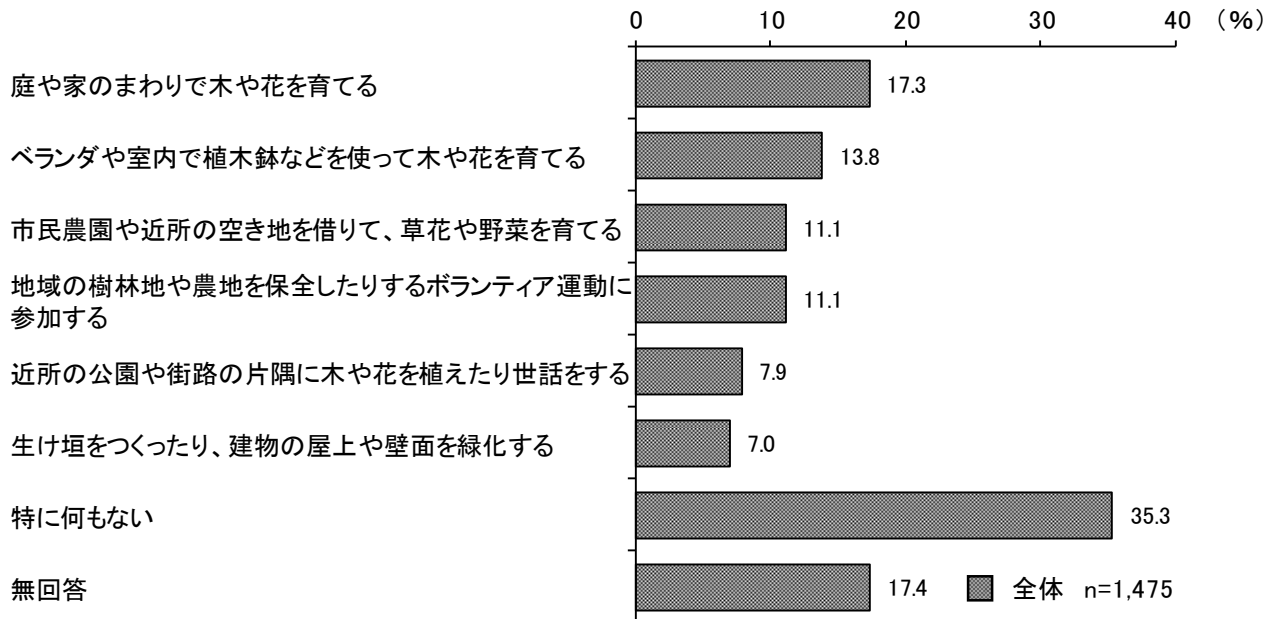


近所の公園や街路の片隅に木や花を植えたり世話をする



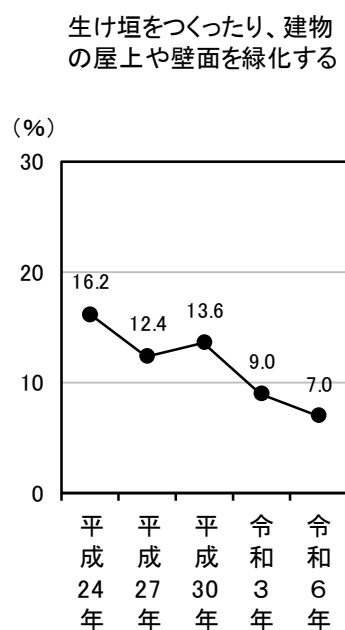
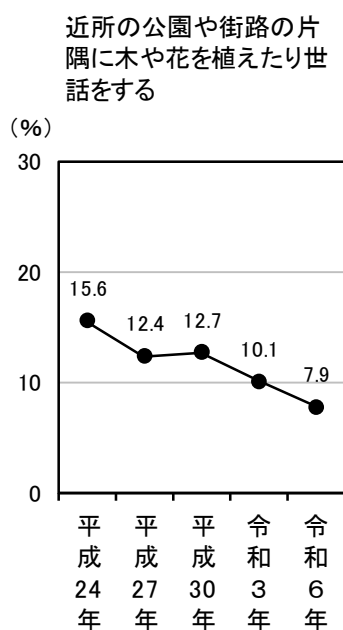
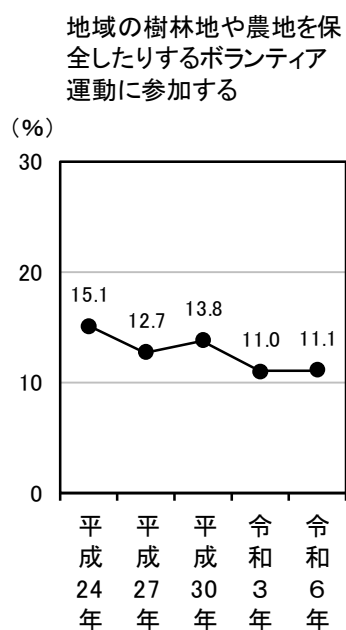
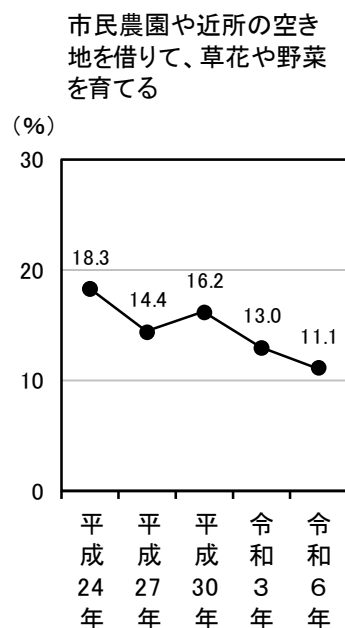
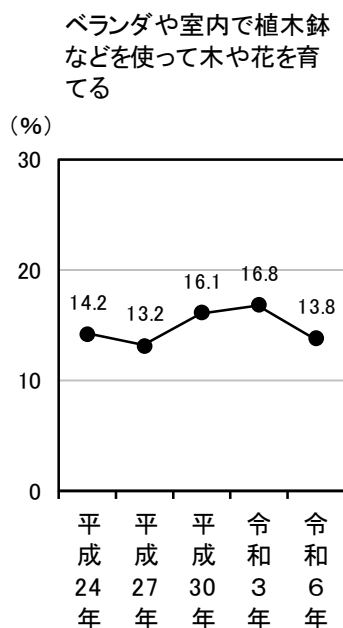
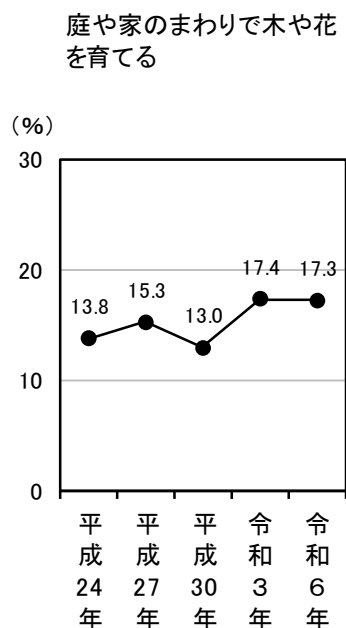
■今後したい活動

まちの緑化への活動内容（今後したい活動）については、「庭や家のまわりで木や花を育てる」が17.3%で最も高く、次いで「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」が13.8%、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」、「地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する」がいずれも11.1%となっている。なお、「特に何も無い」は35.3%となっている。



■ 時系列での比較（今後したい活動）

時系列でみると、「庭や家のまわりで木や花を育てる」は前回調査から 0.1 ポイント下回っているが、平成 24 年度を 3.5 ポイント上回っている。一方「地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する」は前回調査から 0.1 ポイント上回っているが、平成 24 年度を 4.0 ポイント下回っている。「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」は前回調査を 3.0 ポイント下回り、減少傾向に転じている。それ以外の 3 項目についても前回調査を下回っており、平成 24 年度と比べても減少している。

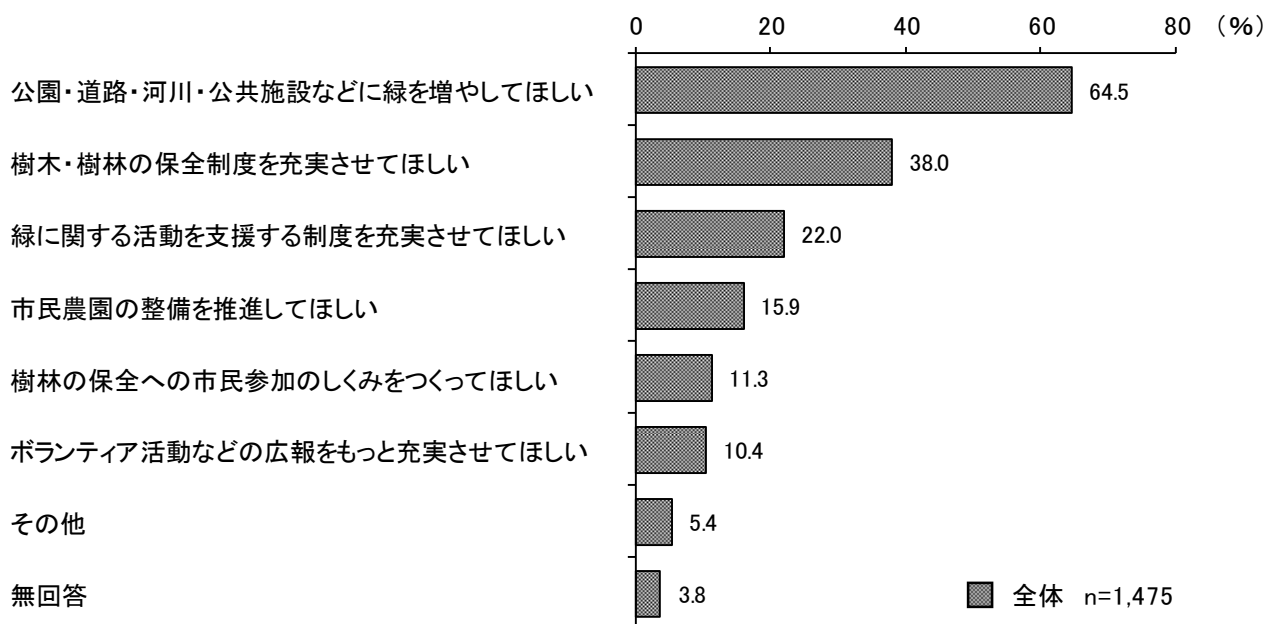


(9) まちの緑化への施策

◇「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」が 64.5%

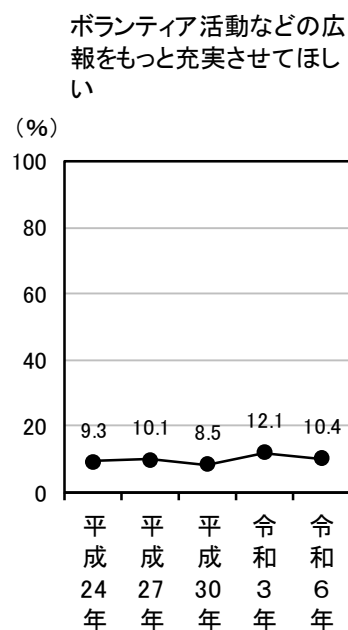
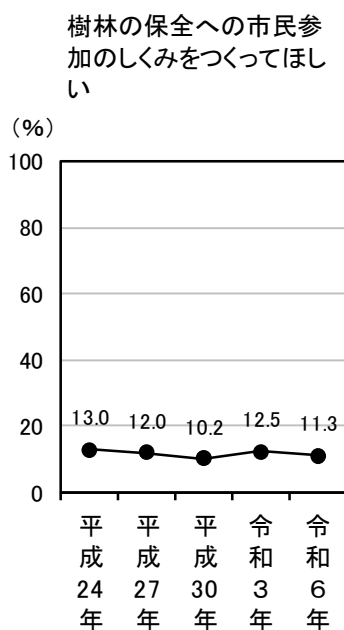
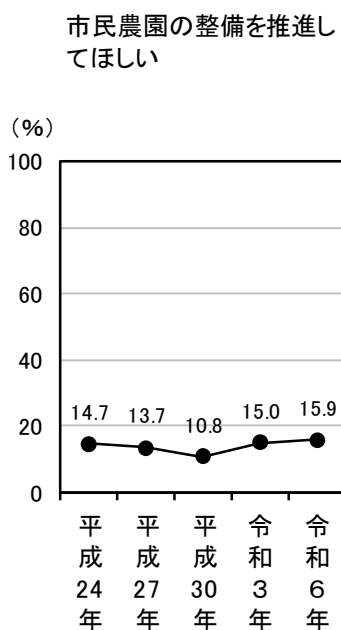
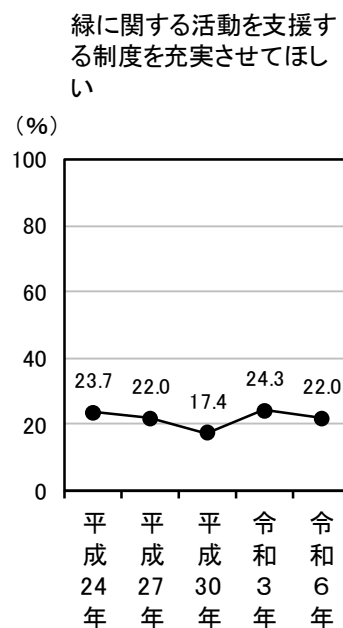
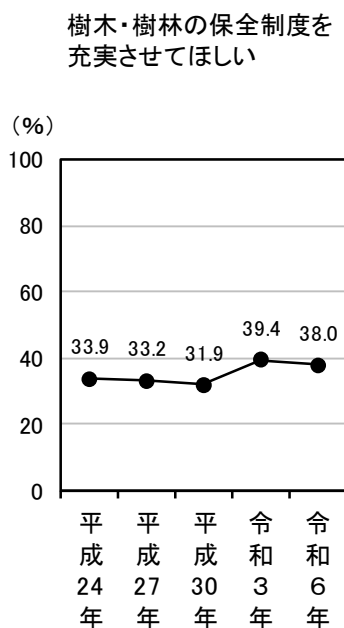
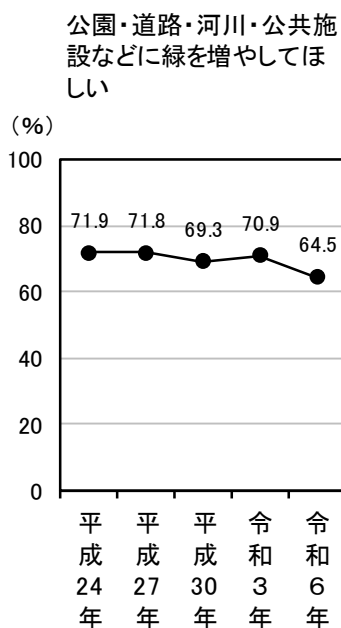
問 39 あなたは、街の緑を守り、増やすために、どのようなことを望みますか。
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)

まちの緑化への施策については、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」が 64.5% で最も高く、次いで「樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい」が 38.0%、「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」が 22.0%、「市民農園の整備を推進してほしい」が 15.9%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「市民農園の整備を推進してほしい」は平成 30 年度以降増加傾向にあるが、他の項目は前回調査で増加したものの、今回は減少傾向となっている。「樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい」は前回調査で 7.5 ポイント増加したものの、今回 1.4 ポイント減少している。また、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」は前回調査より 6.4 ポイント、平成 24 年度より 7.4 ポイント減少し、減少傾向となっている。



■ 年代別

年代別でみると、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」は20歳代で7割を超え、30歳代以上も6割台と、全ての年代で1位となっている。また、「樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい」は全ての年代で3割以上と高くなっている。「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」は、おおむね年代が高くなるにつれ増加傾向となっている。

単位：%	公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい	樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい	緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい	市民農園の整備を推進してほしい	樹林の保全への市民参加のしくみをつくってほしい	ボランティア活動などの広報をもっと充実させてほしい
全体 n=1,475	64.5	38.0	22.0	15.9	11.3	10.4

【年代別】

18・19歳 n=17	76.5	47.1	11.8	23.5	5.9	0.0
20歳代 n=110	73.6	36.4	10.9	22.7	7.3	9.1
30歳代 n=150	66.7	31.3	20.0	16.7	8.7	10.7
40歳代 n=238	64.3	40.3	23.1	17.2	8.0	10.1
50歳代 n=297	60.3	33.7	21.2	14.8	13.8	11.8
60歳代 n=257	69.3	42.8	24.1	11.3	12.1	9.3
70歳以上 n=375	61.9	41.1	25.9	17.3	12.8	12.0